

■平成28年度 在宅医療・地域包括ケアの推進に係る保健福祉事務所事業実施状況（研修・講演会）

事務所	区分	テーマ等	参加者数	成果等	今後の課題	平成29年度実施予定 研修・講演会・出前講座 開催回数	平成30年度に向けて今後取 組む必要がある事業
平塚	講演会 /研修	—	—	—	市町でも類似の事業に取り 組んでいる中で、県の役割 の整理、取り組む意義等の 明確化が必要である。	研修会 1回開催予定	地域医療構想実現に向けた 理解促進
厚木	講演会 /研修	—	—	—	—	老人ホーム等での看取りの 実施についての研修会 1～2回	身近な地域ごとの在宅医 療・看取りの体制整備への 支援
茅ヶ崎	研修	高齢者介護施設での看取り介護を考える ～その人らしい人生を支えるために～ ①看取り介護取組み報告（茅ヶ崎市・寒川町内の特別養護老人 ホーム及び有料老人ホーム） ②講義「高齢者介護施設における看取り介護の推進に向けて」 東京都健康長寿医療センター研究所 島田千穂氏	92	看取り介護実施施設の質の 向上のための参考になっ た。また、施設の看取り介 護について地域全体で考え るきっかけとなった。	看取り介護を実施していな い施設の機運アップや、看 取り介護について医療職と 介護職が互いに理解を深め ていくことが必要。		
	講演会	ずっと安心・ずっと幸せなまちづくり ～地域で私たちができること～ 1部 茅ヶ崎市・寒川町での活動紹介 2部 講演「ずっと安心・ずっと幸せなまちづくり ～地域で私たちができること～」 講師：公益社団法人さわやか福祉財団会長・弁護士 堀田力氏	76	参加者が、助け合いの地域 づくりの必要性や、ボラン ティアをすることが自分自 身の健康にもつながること などの理解を深められた。 また、これからの地域総合 事業への関心を持てた。	地域住民向けの行事は参加 者が限られてしまう傾向が あり(いつも同じメン バー)、開催日時やテーマ 設定に工夫が必要。		
	出前講 座	人生90年代を生きるために～私たちにできること～（4回実施）	94	少人数での開催のため、自 分がどう最期を迎えるかな ど一人ひとりに直接働きか けることができた。	1回の実施にかかる人員、 時間的負担が大きい。		
鎌倉	研修	「地域包括ケアシステム・在宅医療推進担当者連絡会」 テーマ：災害対応と地域の連携体制づくりについて 内容：実践報告、情報交換 講師：岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会副会長 山 内二三男氏 対象者：地域包括支援センター担当者、市町担当者	13	○災害対応の視点を付加す ることで、連携や緊急時を 想定した支援など、地域包 括ケアを再考する契機と なった。 ○他の市町の取組みを知る ことが有意義だった。	○市町の取組を補完する支 援や、広域での情報交換は 引き続き必要。	○連携推進のための研修 1回	○管内市町により状況が異 なるため、市町の状況に あった支援 ○連携が継続していくため の支援
	研修	「在宅医療・医療介護の連携推進に向けた介護事業所職員研修」 在宅療養者の実際やケアの留意点等 講師：小磯診療所院長 磯崎哲男氏 対象者：介護事業所従事者	42	○開催場所や時間を配慮し たことで、今までの研修に 参加できなかった介護従事 者の参加が得られた。 ○訪問介護員や介護支援専 門員等が医療連携の具体的 な方法について理解を得る ことができた。	連携に関する理解や住民へ の周知をすすめる必要があ る。 ○市町や団体等の取組等を 補完し、効果的な実施が求 められる。	○事業者や住民への普及啓 発のための講演会等 1回	
小田原	研修	講演 演題「安心と信頼を身近な地域で」 講師 全国在宅療養支援診療所連絡会会長、（医）つくし会理事 長 新田 國夫氏	77	医療・介護従事者や行政担 当者の今後の取組や考え方 の参考となった。	地域での具体的な取組へど う繋げていくか	研修会又は講演会等の開催 （詳細未定）	今後検討
	講演会	演題「おひとりさまの終活」 講師 ノンフィクションライター 中澤 まゆみ氏	84	地域住民が自ら考え、行動 することの重要性を啓発す ることができた。	地域での具体的な取組へど う繋げていくか	研修会又は講演会等の開催 （詳細未定）	今後検討

事務所	区分	テーマ等	参加者数	成果等	今後の課題	平成29年度実施予定 研修・講演会・出前講座 開催回数	平成30年度に向けて今後取 組む必要がある事業
三崎	研修	—	—	—	—	・三浦市が主体となって実施する多職種連携を推進するための研修会（年1回）を支援	・地域包括支援センター等における人材育成を目的とした研修会の開催
	講演会	在宅療養を考えるつどい～おひとりさまでも最期を自宅で迎えられるですか～	228	・地域で支える在宅療養の現状と今後の取組みに関する市民への啓発	・市民の在宅療養・介護サービスへの理解の醸成	・三浦市が主体となって実施している住民への普及啓発を目的とした講演会（年1回）を支援	
足柄上	講演会	「安心して住み慣れた我が家で最後まで」を支えたい！～訪問看護と暮らしの保健室の活動から～ 講師：（株）ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 統括所長 秋山 正子 氏 参加者：専門職・関係職員	80	医師会主催の看取りについての研修会での課題を取り上げ、専門職向け講演会を開催し、在宅での看取りを支えるため、関係機関と今後の在宅医療介護連携推進の目指すべき方向性について共有することができた。	・市町や関係機関による住民向け講演会や専門職研修・連絡会の全体を把握して、計画的・補完的に実施できるようにする。	研修または講演会を開催1回（詳細未定）	今後検討
秦野	研修	専門職向け研修（秦野市在宅医療・介護連携推進協議会/伊勢原市在宅医療と介護連携推進会議と共催） テーマ：「地域医療構想と医療・介護連携」 講師：丹波健康福祉事務所所長 逢坂 悟郎 氏	229	○研修に向けて、秦野伊勢原地域の在宅医療の実態について、訪問看護ステーションおよび介護支援専門員対象のアンケート調査を実施した。 ○地域医療構想のデータの見方、今後の考え方について学ぶ機会となった。 ○研修実施後のアンケート結果から、医療と介護連携の必要性と関心の高さが伺えた。今後の課題も見えた。 ○研修の企画・実施を通し、秦野市、伊勢原市と共に話し合いを重ね、協力し合う体制ができた。	○在宅医療状況の実態や課題を明らかにし、専門職が共有できるワークショップ等、意見交換や検討の場をつくる。	専門職を対象とした研修を2回	○普及啓発として、住民向けの講演会の継続実施。 ○多職種と連携を深め、実態調査や分析、共有のための研修を県と市協同で実施していく。 ○所内の難病、精神、母子、歯科等の在宅医療に係ることについて、共通認識を図っていく。
	講演会	（一般市民向け） テーマ：「人生の最期をどう迎えますか」～みんなで考えよう！～ パネリスト：医師、訪問看護師、介護支援専門員、小規模多機能介護施設、当事者家族（市民） ①講演 ②パネルディスカッション	125	○看取りについて、一人ひとりが考える機会となった。 ○看取りについての普及啓発の継続の必要性が認識された。	○次年度も継続的に看取りのテーマで普及啓発を実施。 ○両市と連携して実施。	住民を対象とした講演会を1回	
大和	研修	講義及び情報交換「地域での認知症支援を考える～認知症疾患医療センターの事例から～」 講師：東海大学医学部附属病院認知症疾患医療センター ソーシャルワーカー 朝永麻子氏	35	地域の認知症支援における医療連携の課題について、多職種で議論する事ができた。	地域の一般診療所における認知症支援の連携の強化。	H28年度実施結果を元に検討予定	認知症対策に関する体制整備が管内共通の課題